






わらべうた「音楽集会」3年生

先日13日(火)は、朝から音楽集会がありました。今回の集会では、3年生が「わらべうた」の歌と遊び方を紹介してくれました。まず1組は、「うちのうらの黒ねこ」を紹介してくれました。歌詞は「うちのうらのくろねこが おしろいつけてべにつけてひとにみられて ちよいとかくす」です。そして、この「わらべうた」での遊び方とルールを紹介してくれました。この遊びは、鬼が歌に合わせて、みんなの周りを歩きます。歌が終わったときに、鬼からタッチされた人は、鬼を交代します。同じ人にタッチしないで、どこまで続けられるかを競うそうです。

次に2組は、「たけのこ 芽出した」を紹介してくれました。歌詞は「たけのこ め だした はなさきや ひらいた はさみで ちよんぎるぞ えっさえっさえっさっさ」です。そして、この「わらべうた」での遊び方を説明してくれました。歌を歌い、振りをつけながら歩き、最後に出会った人とじゃんけんをします。負けた人は勝った人の後ろにつながります。じゃんけん列車と同じルールだそうです。

最後に3組は、「おてぶし てぶし」を紹介してくれました。かしは「おてぶしてぶし てぶしの中にへびなまやけ かえるのさしみ いっちょばこ やるから まるめておくれ いや」です。そして、このわらべうたの遊び方を説明してくれました。みんなで輪になって座り、準備したおはじきを鬼に見えないように歌に合わせて回していきます。最後に鬼は誰がおはじきを持っているか当てるそうです。おはじきを持っている人を鬼が当てることができれば、鬼と交代だそうです。

感想交流では、1年生が「『 帯西レッド』の心を感じました。わけは、みんなが黒猫の気持ちになっていいなと思いました。」、5年生は「『 帯西グリーン』の心を感じました。理由は、3年生がたくさん練習をして、あれだけ素晴らしい発表をしたからです。」と感想を述べていました。その感想のお返しに3年生が「わらべうたをみんなで遊ぶと、『 帯西グリーン』の心が伸びます。それは友達と心が伝わるからです。」と感想交流を締めくくってくれました。

今回の音楽集会では、3年生のように、授業や遊びの中で積極的に体を動かしながら歌ったり聴いたりすることを取り上げる必要があると考えました。自然な遊びの中で拍を感じ取りながら、音や気持ちを合わせる活動は、息の合った美しい合唱や合奏に取り組む上で基礎となるものだと思います。

